

<白金標準先物、南アの電力不足の表面化で 4700 円回帰・・・>



(出所：オアシス)

南アフリカで 14 日にトゥトゥク火力発電所、クリエル火力発電所、ドウバ火力発電所、ケンダル火力発電所の 4 つの火力発電所で 6 つの発電ユニットが故障し、17 日からステージ 8 まで設定されている負荷制限の昼間にステージ 5、夜間にはステージ 6 の負荷制限を実施している。そのため大規模な産業用ユーザーや鉱山への 1353MW の供給を削減し、アルミニウム精錬所への追加の 477MW を削減するまでに至っている。

特に鉱山会社は電力削減を受けて鉱山稼働率が低下した事は間違いなく、生産量の低下に結び付く状況でもある。また 2008 年の全電力喪失（ブラックアウト）までは至っていないが、南半球が冬に時間帯に入る 6 月～9 月には現在の電力消費を上回る電力需要が予想される事から、同様な問題が冬の時間帯に起こるとステージ 8 に届く 2008 年の再来が起こってもおかしくない状況である。

特に 40 年間の稼働期間が迫る原子力発電所の 1 号機は、半年間のメンテナンスで 6 月には再稼働が出来るスケジュールが 45 日間延期される問題もあり、南アフリカの冬の時間帯に発電能力が低下した状態を維持するなど電力喪失の問題を抱えている事からも高値を追い続ける可能性があり、2013 年の 5300 円の高値追いに注意が必要と思える。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が上昇し、**シグナル** も上昇するなど強気を維持している。RCI でも**短期**が維持しながら**長期**は切り上げ続けており、依然と高値追いを示唆している。ただ日足と **10 日移動平均線**の乖離が拡大した状態であり、目先の調整安には注意が必要と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,670,000 円(2023 年 4 月 24 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 39,160 円(2023 年 4 月 24 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>